

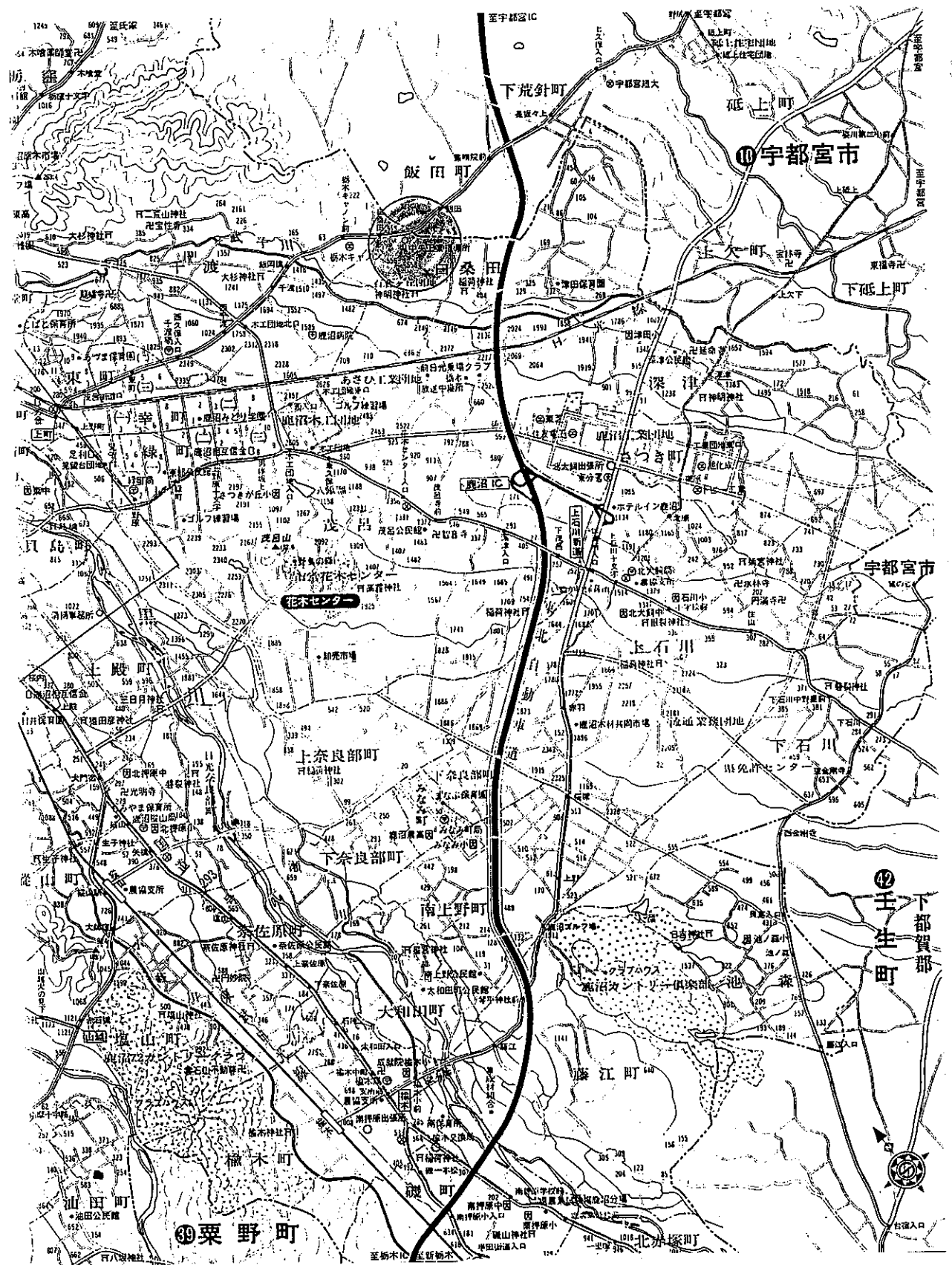
ご 注 意

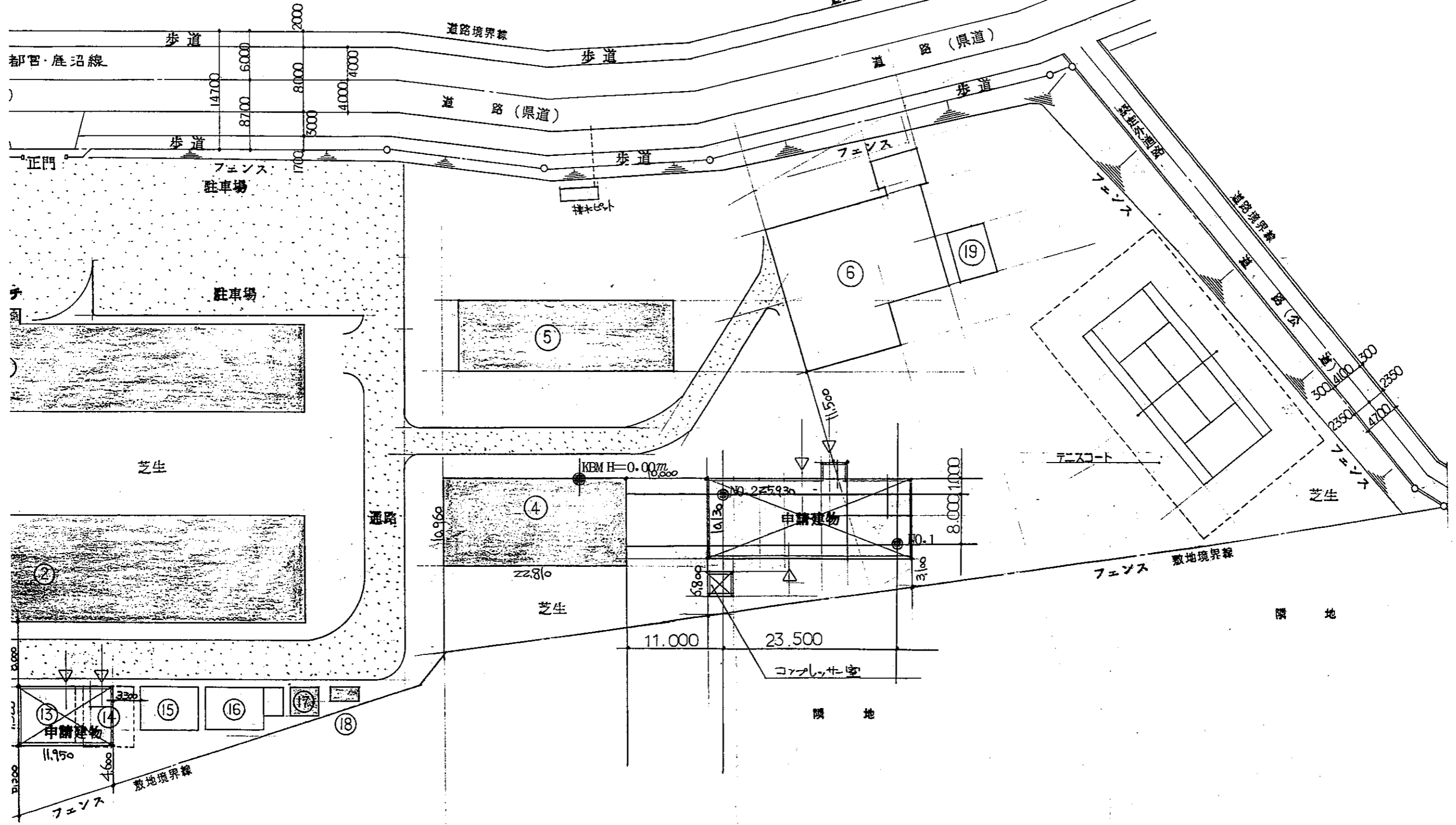
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課





土質柱状図 報告用紙

調査名 工業技術センター地域システム開発事業実験棟新築工事地質調査

調査年月日 / 年 6月 2 日

調査地点 栃木県鹿沼市白桑田5/6-1

標高 KBM-0.63 m

日 / 年 6月 5 日

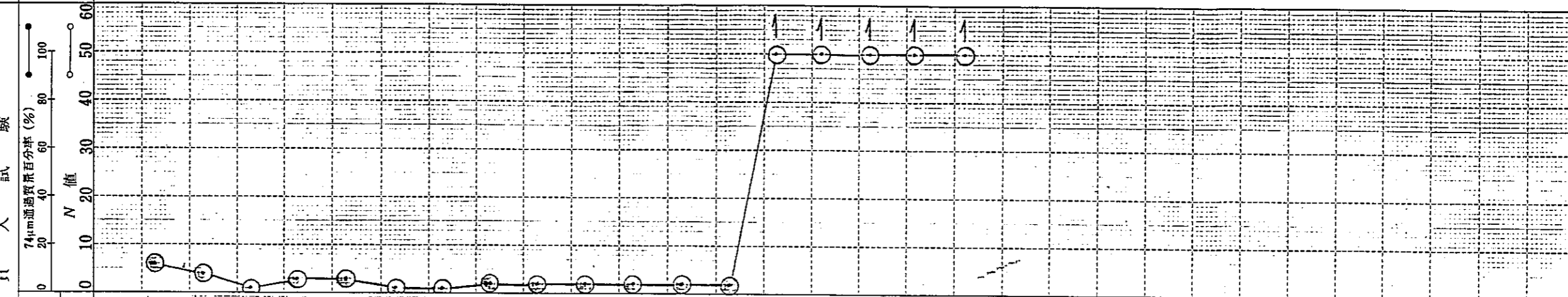
ボーリング孔：No. 2

孔内水位(自然、飽) GL-3.50 m 調査責任者

機種 KR-100

標尺 m	高さ m	深さ m	層厚 m	観察記録			採取試料・原位置試験	注1) 方法
				土質名	色調	記事		
0		0.20	0.20	盛土	黒褐	含水中位。ロームとシルト質土の混合土。又、φ20~30m/mの礫が全体に混入。	1.15	1)
1		0.70	0.50	盛土	暗褐		1.45	2)
2		2.30	1.60	ローム	茶褐	含水中位。シルト質土	2.15	3)
3		3.45	1.15	軽石	黄褐	含水中位。粘性中位。下部に従がい軽石を混入する層を呈す。	2.45	4)
4						含水大位。粒径均一。φ5~10m/m程度。	3.15	5)
5						含水中位。上部5.70m付近までは、粘性度があまりないが、以降7.60m付近まで粘性中位。7.60m付近より、下部に従がい礫を混入し、9.00m付近まで、やや締った層を呈す。又、粘性小位である。9.00m付近より、再び粘性中位。又、12.80m付近より砂を含んだ層を呈す。	3.45	6)
6							4.15	7)
7							4.45	8)
8							5.15	9)
9							5.45	10)
0							6.15	11)
1							6.45	12)
2							7.15	13)
3							7.45	14)
4							8.15	15)
5							8.45	16)
6							9.15	17)
7							9.45	18)
8							10.15	19)
9							10.45	20)
0							11.15	21)
1							11.45	22)
2							12.15	23)
3							12.45	24)
4							13.15	25)
5							13.45	26)
6							14.15	27)
7							14.36	28)
8							15.15	29)
9							15.34	30)
0							16.15	31)
1							16.38	32)
2							17.15	33)
3							17.33	34)
4							18.15	35)
5							18.36	36)

標準貫入試験



備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンクウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
D: デニソン型サンプラー

注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図

報告用紙

調査名 工業技術センター地域システム開発事業実験棟新築工事地質調査

調査年月日 / 年 5 月 3 / 日

調査地点 栃木県鹿沼市白桑田5/6-1

標高 KBM -0.69 m

~ / 年 6 月 / 日

ボーリング孔: No. /

機種 KR-100

孔内水位(自然(泥) GL-3.10 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験							採取試料・原位置試験								
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 回/cm	10 cm ことの打撃回数			74μm 通過質量百分率 (%)					試料番号	測定番号	深さ m	方注1) 注2)	
										10 cm	20 cm	30 cm	N 値									
0		0.30	0.30	盛土	黒褐	シルト及びロームの混合土である。																
1		1.50	1.20	表土	暗褐	含水-中位	1.15	7	2	2	3											
2		2.80	1.30	ローム	茶褐	シルト質土である。含水-中位。上部植物根混入。0.30m 付近よりローム混入する。	2.15	6	2	2	2											
3	▽	3.60	0.80	軽石	横褐		3.15	2	1	1												
4				ローム	茶褐	含水-中~大位。全体に少量の粘土混入する。下部若干軽石混入。	4.15	6	2	2	2											
5							6.15	4	1	1	2											
6							7.15	3	1	1	1											
7							8.15	5	1	2	2											
8							9.15	5	1	2	2											
9							10.15	3	1	1	1											
10							11.15	2	1	1												
11							12.15	0	自沈													
12							13.15	1	1													
13							14.15	2	1	1	1											
14		14.60	11.00	砂礫	茶褐	主体礫径φ20~40mm。全体に粘土分を含み凝灰質を呈す。礫は、風化礫を呈し締まっている。含水-少位。最大礫径φ100mm程度。全体に細粒分多く締まった地層を呈す。	14.15	2	1	1	1											
15							15.15	30	10	9	11											
16							16.15	50	26	24												
17							17.15	50	24	26												
18		18.30					18.15	50	28	22												
19							18.30	15		5												

標準貫入試験

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンブラー F: フォイルサンブラー
- P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー
- D: デニソン型サンブラー

